

# 応募要綱

2020年7月吉日  
(一社)日本木造住宅産業協会  
技術開発委員会

「長く快適に住み続けるためのリフォーム成功事例2020」の募集について

## 募集主旨

2019年度の新築住宅着工戸数は約88.3万戸と微減で、今後の予測も減少傾向とされており、既存住宅の活用等によるストック型社会への転換の流れは国の施策として継続しています。

長期優良住宅化リフォーム推進事業や高性能建材による住宅の断熱リフォーム支援事業（断熱リノベ）、ZEH支援事業の継続、耐震性や省エネ、バリアフリーに関する改修工事支援、多世帯同居に係る税制優遇等々、優良な住宅ストックの普及並びに既存住宅の維持保全等による長寿命化が推進されています。

そうした中、住まい手がリフォームをする際に、実際のリフォーム事例の写真や図面等を見比べ、改修のアイデアや耐震補強の方法、省エネ改修等、の施工例を確認できることは、イメージを具体化するためのヒントになります。また、悪質なリフォーム事業者との判別等、判断力向上のためにも、良質なリフォーム事例に触れる機会を増やしていくことは、業界の責務であると言えます。

住宅を長く使い続けられるようにするためには、地震や台風、積雪等に対する構造安全性の確保を始め、より快適に、安全で健康に住み続けるための省エネ化・低炭素化、健康面でも有効と指摘される温熱環境、住まい手の健康に関わる空気環境、維持管理の容易性等々の確保が重要となります。既存住宅のリフォームに併せ、耐震改修の提案を行い大地震時での安全性の確保が、住まい手の生命を守り、地域の障害とならない建物にすることであることを建築主に理解いただくことも重要となります。

また、住まい手の加齢に伴う身体機能の低下等への対応として間取りが変更できるよう準備したり、浴室・便所・寝室の面積を十分に確保したりすること、廊下・出入口の幅員拡充や階段の安全性の向上などの配慮も、住まいを長く使い続けるための仕組みとして重要な提案となります。この他、木材利用の推進のための内装の木質化等を図ったリフォームも対象としています。

つきましては、住宅の機能性確保や性能向上等に向けた良質な改修事例について、一般の方々に紹介することを目的として、会員各社が行った住宅改修の成功事例や改修にあたってのアイデア、改修に役立つ商品、長寿命化のための工夫、住宅改修や現行法令への対応のための技術開発等々について広く募集し公表することとしました。

以下の募集内容をご確認いただき、会員各社の良質な改修事例を公開する場として奮ってご応募下さいますようお願い申し上げます。

なお、応募いただいた成功事例やアイデア等については、当協会の技術開発委員会にて内容を確認のうえ、ホームページ等での公開を行う予定としています。

## ●募集部門

### 1. 実例部門（改修を行った木造住宅現場の実例とし、次の項目等を想定）

- ①水廻りリフォーム：募集主旨に沿った台所、浴室、トイレ等の改修  
※水回り設備の更新を行ったものすべてが対象です
- ②エコリフォーム：健康のための改修、環境負荷の小さい建材、工法による改修  
※リフォームで環境負荷は減るためほぼすべての工事が対象です。
- ③バリアフリーリフォーム：段差の解消、手摺設置の工夫や車椅子対応への改修等
- ④耐震リフォーム：間取り変更併せた耐震改修や耐震性向上のための技術等  
※耐震補強を行ったものが対象です。
- ⑤省エネリフォーム：開口部や躯体の断熱化、積極的な通風の確保等の省エネ改修  
※1種以上の部位について断熱性能向上をしたものが対象です。
- ⑥防犯対策リフォーム：敷地・建物を犯罪から防ぐための改修や外構の改善  
※特筆する防犯性能の向上を行ったものが対象です。
- ⑦民家再生：農家などの民家のリフォームや移築再生など  
※おおむね築80年程度以上のもので続き間などがあるものが対象です。
- ⑧木質化リフォーム：内装の木質化が特徴であるリフォームなど  
※絨毯をフローリングに、ビニルクロスを板張り壁にしたもの等が対象です。  
フローリングからフローリングへの張替等は対象外となります。

単一のリフォームも対象としますが、外壁の塗り替えを絡めた耐震改修を行うなどしたものや、水廻り設備の更新に合わせてバリアフリー工事を行ったもの、既存不適格建物の適法建物への解決法など、建物の長寿命化に資するリフォーム実例を期待します。

### 2. 提案・技術部門（実績の有無を問わず、改修方法のアイデア、住まいを超長寿命化するためのアイデア、改修技術等の提案）

- ①改修アイデア
- ②改修に関する自社のアイデア商品の紹介等

接合部の補強方法や耐力壁の補強方法、増築部分と既存部分のエキスパンションジョイントの方法や雨仕舞のアイデア等、リフォームに役立つ提案を期待します。

## ●応募条件

- ・実例部門は、原則としてリフォームを行った戸建て木造住宅を対象としますが、内装の木質化についてはマンション等も対象とします。
- ・原則として2019年1月1日以降に着工し、応募締め切り（2020年9月15日）までに完成したものの。
- ・木住協のホームページ等に掲載・発表できるものとします。（他の競技設計（コンペ）等で著作権の発生するものは対象となりません。）
- ・応募書類は返却致しません。
- ・応募物件をより詳しく紹介するために追加情報の提供をお願いすることがあります。

## ●応募対象者

- ・木住協の会員企業に限ります。  
但し、会員企業が問い合わせ等の窓口となる場合は、会員企業の関連会社が施工した物件の応募も可とします。（非会員である関連会社のみ応募は不可）

## ●募集期間

- 2020年7月 募集要項の公表、募集開始
- 2020年9月15日 締め切り
- 2021年2月下旬 公表予定

●審査

作品の優劣をつけるものではありません。特定の審査委員会等は想定しません。  
技術開発委員会小委員会にて要綱との合致及び提案内容等に関する確認を行います。

●応募作品の公表

今年度より、法令や技術的に問題がないものを対象として、木住協のホームページに掲載します。掲載データがダウンロード等される可能性があります。著作権等を考慮したうえでご応募ください。応募会社様、委員会委員用として冊子を作成し配布します。

- ・経緯、要望、工夫、お客様の声は語調を統一させていただきます。
- ・テーマに関する対策については、工夫等に追記させていただくことがあります。
- ・図面は、平面図を再構成させていただきます。
- ・写真は、改修前後（工事中含）合わせて冊子で6～10枚、HP閲覧用で12枚程度の掲示です。サイズの変更等をする場合があります。

●提出物

別添の応募用紙に必要事項を記入し、写真と図面を添付してください。  
電子データによる応募とします。

①写真について

改修に当たって特徴的な工事中的写真（基礎・耐力壁・接合部・断熱等の補強部、段差解消部等）、木質化に関しては、絨毯からフローリングへの変更など、同一部位で改修前後の写真の添付をお願いします。

※添付写真のデータ・サイズについてのお願い

- ・写真サイズ                      ファインモード 2048×1536 ピクセル（1MB）程度以上
- ・写真データのファイル名      テーマ名（頭5文字） 部位名 新旧 としてください。  
例：ひかりが入る家 玄関 改修前 の写真の場合  
⇒「ひかりが入玄関旧.Jpg」となります。

②添付図面についてのお願い

- ・図面 PDF、JWW、DXF等のデータを添付してください。
- ・図面データのファイル名      テーマ名（頭5文字） 図面名 新旧 としてください。  
例：ひかりが入る家 1階平面図 改修前 の場合  
⇒ひかりが入1階平面旧.pdf
- ・施工範囲が分かる図面（網掛けや色つけにて表記）も添付ください。

●応募方法：木住協事務局あてにお送りください。

問合せ及び作品送付先

（一社）日本木造住宅産業協会 技術開発部

〒106-0032

東京都港区六本木 1-7-27

全特六本木ビル WEST 棟 2階

Tel：03-5114-3012 Fax：03-5114-3020

E-mail：gijutu\_k1018@mokujukyo.or.jp

担当：技術開発部 高橋 / 細野